



1 PTA作業のお礼

6月6日（木）午後4時20分から午後6時、全PTA会員と5年児童が参加してPTA作業を行いました。梅雨時のPTA作業で、途中小雨も降りましたが、予定していたスタンド・運動場の草刈り、運動場の溝掃除、正門・幼稚園周辺の草刈り等、学校環境を整えることができました。

今回は5年児童が草の運搬等を手伝いましたが、低学年の児童も一緒にお手伝いをしていました。環境整備部には作業の段取り、車を出してもらった方は刈り取った草を村の草置き場までの運搬、5年児童のお迎え等ご協力をいただきました。PTA全会員のご協力に感謝申し上げます。



2 平和学習会

授業参観日の6月18日（3校時）、本校体育館で、今泊在住の名城敏子さんを講師に、平和学集会を開催しました。名城さんは、名護市東江出身、名護高校、東京家政学院大学を卒業して、今帰仁村保育所で26年間勤務して60歳で退職、現在86歳で農業をしているそうです。退職後これまで読み聞かせボランティアを約16年間兼次小学校や今帰仁中学校で実施、併せて平和学習の講師もやってきたそうです。以下名城さんの講話より



①冒頭子ども達に「平和って何でしょう」と問いかけ、「平和とは戦争がないこと。穏やかで争いごとがないこと。」と話しました。②1944年10・10空襲では、蚊が群れをなして飛んでいるかのように飛行機が飛んできた。③父親は防空壕をつくっていた。1945年1月父親が防衛隊として招集された。東江小の運動場から那覇へ向かう父親を見たのが最後だった。④母親が避難中、6女を産んだ。当時12歳で長女の敏子さんは母親を手伝いながら小さい妹たちの面倒を見た。⑤名護市田井等の捕虜収容所でマラリアにかかった。⑥私が元気になったら母親や家族をひもじい思いをさせない。

最後に敏子おばーからの遺言「戦争はあってはならない。平和を作り出す大人になって下さい。」と話していました。

講話の後、児童全員で平和を願って「月桃」を合唱。児童を代表して6年澤岬沙綾さんが「心に残っていることは、小さい頃から食料をさがしたり家のことをしたり、妹を連れて険しい道を歩いたり大変だったと思いました。戦争は、とても恐く、人を殺して命を奪ってしまうものだと感じました。私たちのために、平和をテーマにお話ししていただきありがとうございました。」とお礼の言葉を述べました。